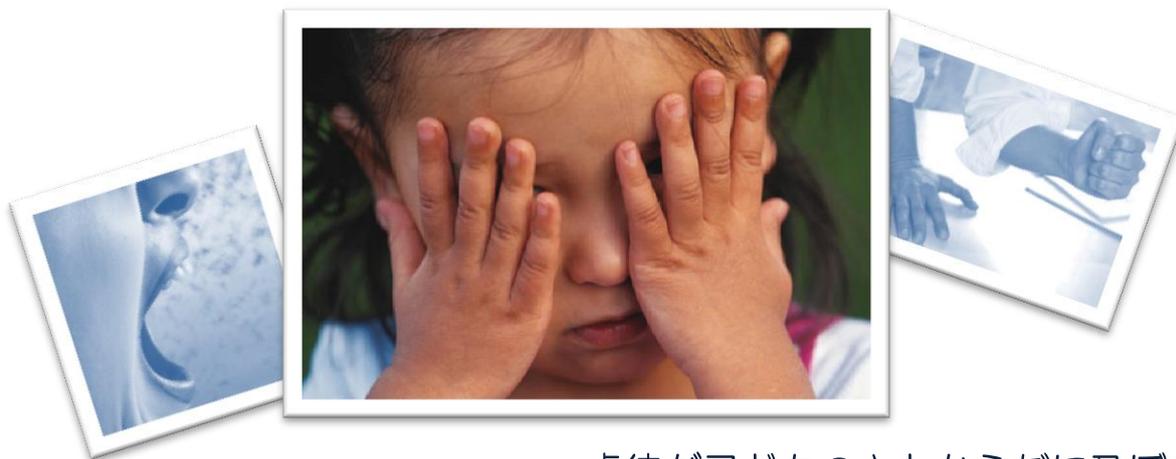


虐待を受けた子どもたちの心

—自律・自立にむけて何が必要なのか—



虐待が子どもの心とからだに及ぼす影響、
それによって何が社会的養護の現場で起きているのかを知り、
自律・自立にむけて「今」何が必要なのかを考えます。

日時 2014年10月26日（日）10：30～16：30（受付10：00～）

会場 市民交流センターひがしよどがわ 401



講師 西澤 哲（山梨県立大学人間福祉学部 教授／CAPセンター・JAPAN 理事）

サンフランシスコ州立大学大学院教育学部カウンセリング学科修了。仙台の情緒障害児短期治療施設勤務時代に「虐待を受けた子ども」とかかわったのをきっかけに心理療法に取り組むようになる。虐待などのトラウマを受けた子どもの心理臨床活動を行っている。主な著書『子ども虐待』、『子どものトラウマ』等。

今、社会的養護のもとで暮らす子どもたちの多くは何らかの虐待、あるいは虐待的環境で育ってきます。「何でこの子、こんな風に考えるの？」「何がこうさせるの？」と思い悩みながら関わっている方も多いと思います。子ども虐待が子どもの心とからだに及ぼす影響を知り、その影響によって社会的養護の現場で何が起きているのかをお話いただき、さらに退所後の自律・自立にむけて「今」必要なことは何かをご一緒に考えていきます。援助職として、子どもの“今”に関わる方はぜひご参加ください。

- 参加費 一般 5,400円（税込）
CAPセンター・JAPAN 活動会員 3,240円（税込）
- 定員 60人
- 対象 社会的養護の現場に関わる人（施設職員、里親など）、CAPスペシャリスト



会場案内

市民交流センターひがしよどがわ

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路 1-4-18

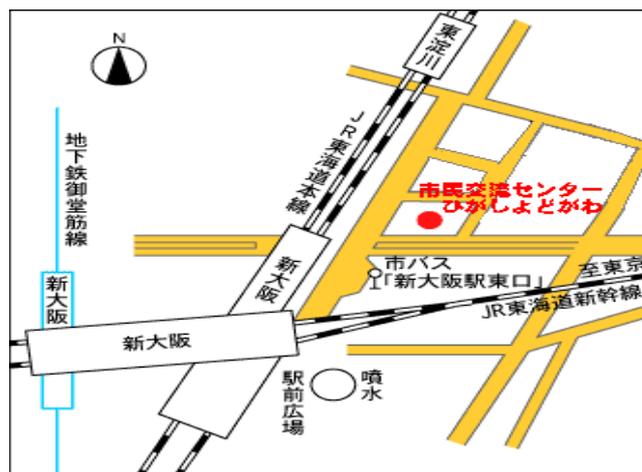
地下鉄御堂筋線「新大阪」下車 徒歩 10分

JR 東海道本線「新大阪」下車 徒歩 5分

※最寄りのコンビニまで徒歩で10分はかかります。

また、近隣に食堂等はありません。

お飲み物・昼食は各自ご準備ください。



主催する団体：NPO 法人 CAP センター・JAPAN の

キャップ

CAPとは… **Child Assault Prevention (子どもへの暴力防止)** の略です

子どもたち（就学前児・小学生・中学生）がいじめ、誘拐、痴漢、虐待、性暴力などのさまざまな暴力から自分の心とからだを守ることを目的とするおとなと子どもへの暴力防止のための教育プログラムです。ロールプレイや話し合いを交えたワークショップ（参加体験型学習）を通して、誰でも生まれながらに持っている大切な3つの権利・・・「安心」「自信」「自由」があり、もし暴力にあってその3つの権利が侵害されそうになったら何ができるかを教職員、保護者、地域のおとな、そして子どもに伝え、共に考えていきます。

お申し込み

下記の申込書にご記入の上 CAP センター・JAPAN まで FAX、またはメールでのお申し込みの場合は下記の項目を入力し、お申し込みください。定員に余裕がある場合は、当日ご参加いただくことができますが、お席の確保のためお早目にお申し込みいただきますようお願いいたします。センターから参加確定の連絡後、1週間以内に参加費をお振り込みください（複数人数分お振り込みいただいて結構です）。

ご不明な点などがありましたら、センター事務局までお問い合わせください。

TEL:0798-57-4121 / FAX:0798-57-4122 / E-mail:info@cap-j.net

.....
【10月26日開催】虐待を受けた子どもの心-自律・自立に向けて今、何が必要なのか
参加申込書

2014年 月 日

お名前： _____

所属先/職種： _____

連絡先： TEL _____ FAX/E-mail _____

※申込み受付連絡をいたしますので、連絡先は必ずご記入ください。